



# 荒川区国際交流協会 事務局だより

2025年  
2月号

2025年2月10日発行

編集・発行 荒川区国際交流協会事務局

〒116-8501 東京都荒川区荒川2-2-3 荒川区役所地域文化スポーツ部 文化交流推進課内

H P <http://www.arakawa-kokusai.com>

E-mail: [kokusai@city.arakawa.tokyo.jp](mailto:kokusai@city.arakawa.tokyo.jp) Tel:3802-3798 Fax:3802-4769

## 事業報告

## 世界の料理教室～スリランカ料理編～



令和7年1月25日(土)尾久ふれあい館にて、世界の料理教室(スリランカ料理編)を開催しました。講師は、現在日本語教室(昼コース)で受講生として勉強している“ピュミ・タルカ”さんとサポートにパートナーの“ニランガ・ラクシャン”さんに務めていただきました。

当日は19名の方が参加し「シーニサンボル&ミルクライス」「スリランカパンケーキ」を作りました。その後質問コーナーを設け、料理を食べながらスリランカの文化や生活習慣、タルカさんたちの日本での暮らし等について理解を深めました。

以下にレシピを掲載いたしますので、今回ご参加いただけなかった皆さんも、ぜひご自宅で作っていただければ嬉しいです。



タルカさん、ラクシャンさん(前列中央)と一緒に



参加者の皆様が、タルカさんたちの料理に夢中になっている様子



レシピはこちらから

## ボランティア募集

## 第27回外国人による日本語スピーチ大会

～スピーチ大会にボランティアとしてご協力いただける方を募集します!!～

令和7年3月2日(日)に、外国人による日本語スピーチ大会を開催します。当日は、10名以上の出場者がゆいの森ホールにて、「私の好きなもの」について発表します。

ご協力いただけるボランティアの方を募集します。

|   |   |                           |
|---|---|---------------------------|
| 日 | 時 | 令和7年3月2日(日) 午後1時～4時半(予定)  |
| 場 | 所 | ゆいの森あらかわ1階 ゆいの森ホール        |
| 申 | 込 | メール(氏名・住所・電話番号を明記の上、申し込み) |
| 募 | 集 | 人数 ボランティア4名程度             |
| メ | 切 | 令和7年2月17日(月)              |



第26回日本語スピーチ大会  
出場者の皆様

## ～ウィーン派遣高校生を募集します!!～

荒川区の親善大使として、ウィーン市ドナウシュタット区の高校生とお互いにホームステイを体験し、言語や文化を学び合い、国際的な視野を広げませんか?ご家族、お知り合いにご興味ある方いらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。

- 日時** 派遣:2025年7月26日(土)～8月5日(火)  
受入:2025年8月16日(土)～8月25日(月)
- 内容**
- ① 派遣前:約8回程度事前研修(4月～7月)
  - ② 派遣中:ホームステイ、ウィーン市及び近郊での研修
  - ③ 受入中:ホストファミリーとしての受入
  - ④ 帰国後:報告書作成・報告会への参加・広報等への協力



2024年度派遣生  
ドナウシュタット区役所にて

- 募集人数** 荒川区内在住の高校生6名(令和7年4月時点で高校生の方)  
※8月下旬にウィーンの高校生を自宅に受け入れることができる方
- 参加費** 25万円程度(予定経費【渡航費、保険料、食費等】の1/2相当)
- 応募方法** 応募書類を協会事務局に持参または郵送
- 応募書類**
- ① 参加申込書一式
  - ② 作文
- 申込期限** 2025年2月28日(金) 午後5時(必着)

その他詳しい情報は、こちらの二次元バーコードに掲載しています。  
応募をご検討いただいている方は、必ずご覧ください。



詳細はこちらから

## 派遣生の声

- A オーストリアの歴史や文化について理解を深めることができました。実際に見ることで、知らないことが沢山あることを実感し、派遣後もオーストリアについて調べています。また、派遣を通して、海外へ行くことや外国語でコミュニケーションをとることへのハードルが自分の中で下がり、成長を感じました。
- B ホストファミリーは皆さんとても優しく接してくれました。最初は緊張しましたが、沢山話しかけてくれて、私からも話すようになりました。「日本語でなんていうの」など、日本の文化についても沢山質問をしてくれて、「おはよう」や「おやすみなさい」を毎日行ってくれました。
- C 受け入れについては、うまくもてなせるか不安でしたが、誠意をもって接すれば基本的には何でも喜んでくれました。過度のおもてなしをする必要はなく、日本を楽しんでもらうためには、家族だけでなく、日本人同士のコミュニケーションが非常に重要だと感じました。

## 編集後記

今月から、ウィーン高校生派遣の参加者募集が始まりました。交流都市との繋がりを活かし、荒川区の次世代を担う学生の皆様がグローバルな視野を持てるよう、準備しております。参加した高校生は派遣・受入を通じて一回りも二回りもたくましく成長し、高校生だけでなく、ご家族からも貴重な体験ができたとお声をいただいております。(堀川)